

第25回田原市市民協働まちづくり会議 議事録要旨

1 日 時	平成30年7月26日（木）午後6時～8時
2 場 所	田原市役所南庁舎6階 600会議室
3 出席者	【委員】 鋤柄美和子、橋本聡恵、水野一道、福田佳子、鈴木嘉希津、牧野和代、本多ちえ子、大河孝代、小澤美穂子、高崎雄三、鈴木照彦、石川恵史、三矢勝司 （欠席者無し） 【事務局】 大羽課長、河口課長補佐兼係長、佐々木係長、内田主事補
4 議事録署名者	鋤柄美和子、橋本聡恵
5 会議事項	会長・副会長の選任について 報告事項 （１）市民協働まちづくりの推進体制について （２）田原市の市民協働まちづくり方針（ポケット版）について （３）市の機関の取組について （４）平成30年度市民協働事業について （５）社会貢献活動災害補償制度について （６）第11回男女共同参画フェスティバル、第12回しみのひろばについて （７）改訂版第1次田原市総合計画の中間評価について

会長・副会長の選任について

決定事項

- 会長：三矢勝司委員
- 副会長：福田佳子委員

報告事項

（１）市民協働まちづくりの推進体制について

○事務局：資料1-1、資料1-2について説明

（２）田原市の市民協働まちづくり方針（ポケット版）について

○事務局：資料2について説明

《質疑・意見》

- ・14ページの「田原市内の各種団体」の項目に「JA愛知みなみ」が入っていないが、また違った立ち位置ということなのか。（委員等）

→ここに記載されているのは「非営利活動を行う団体」。抜け漏れなのかどうか整合性を確認し、回答する。（事務局）

【結果・回答】 J A 愛知みなみは「非営利活動を行う団体」ではないため、修正無し。

- ・ 14 ページの「田原市内の各種団体」の項目で、「社会福祉協議会ボランティアセンター」と自身が所属している「田原市ボランティア連絡協議会」は別の組織。「田原市ボランティア連絡協議会」が記載されるのではないか。(委員等)

→確認し、回答する。(事務局)

【結果・回答】 修正無し。「田原市ボランティア連絡協議会」は「社会福祉協議会ボランティアセンター」に登録している団体の代表者の一部が集まった組織であり、「社会福祉協議会ボランティアセンター」はセンターに登録している団体全体が集まった組織。よって、「社会福祉協議会ボランティアセンター」の表記とする。

(3) 市の機関の取組について

○石川委員：資料3について説明

《質疑・意見》

- ・ 指針その2「行政参加・協働の推進」の「田原市地域雇用創造協議会」や「田原市創業支援ネットワーク会議」はどのようなものか。(委員等)
 - 昨年から商工観光課が地域雇用について力を入れており、赤羽根を中心に夜の温室をジャングルに見立てたツアーのような今までにない変わった企画を考えているところ。(事務局)
- ・ 様々な団体が集まり、知恵を出し合ってイノベーションしていくというのが田原市では進んでいると感じた。(委員等)

(4) 平成30年度市民協働事業について

○事務局：資料4～4-2、資料5、資料6、資料7-1～7-3について説明

《説明の要旨》

市民提案型委託事業のテーマ提示型について、平成30年度はしみんのひろば開催事業の枠がないが、田原市民活動支援センターの業務内容にしみんのひろばの企画提案を入れている。

《質疑・意見》

- ・ 資料6の新規団体活動補助金の実績で、平成30年度だと2件の応募で2件採択なのか、応募はそれ以上あったのか。(委員等)
 - 応募は3件だが、1件については事業要件の不揃いや事業実施までの準備期間の短さにより結果的には提案取り下げとなった。平成29年度は、2件の枠に2件の採択だった。(事務局)
- ・ 申請が多くある補助金とそうでないものとの差が大きい印象を受けた。市民ニーズとマッチングしない補助金を削って需要がある方へ回したらどうか。(委員等)
 - 予算組みとしては、需要と供給の実績から考えている。また、需要が少ない補助金があれば、全体の補助金制度の中で流用ができる。(事務局)
- ・ 平成29年度の市民提案型委託事業が、テーマ提示型と自由テーマ型ともに採択事業無しという状況だが、どうにか上手く改善されたいと思う。(委員等)
 - 平成28年度は、テーマ提示型の各テーマで2団体ずつ応募があり、審査し1団体を採択した。平成29年度は応募が無くなったため、団体への提案及び周知を充実させる必要がある。

る。(事務局)

- ・資料6の人材養成活動補助金の先進事例視察枠は、昨年度に商工観光課の方でこういった補助金の話聞いたが、どうなのか。(委員等)

→企画課の企画係でこの事業枠を持っていて、一定の役目は終えたと思われるが、市民協働の人材育成につながるということから、人材養成活動補助金へ組み込んだ。昨年度に、商工観光課とめっくんはうすで提案をいただき、県外へ視察に行っていたという経緯。
(事務局)

(5) 社会貢献活動災害補償制度について

○事務局：資料8-1、資料8-2について説明

《質疑・意見》

- ・田原ライオンズクラブで事業の一環として白谷や権現の森の清掃活動などを実施している。こうした活動は補償の対象となるのか。(委員等)

→活動内容を確認のうえ、改めて回答させていただく。(事務局)

【結果・回答】事業の一環として実施しているのなら、補償の対象とならない。

- ・リストの中に「社会福祉協議会が事務局を担当している団体」があり、補償の対象となっているが、団体はまた別に社会福祉協議会のボランティア保険に加入している。重複しているのではないか。(委員等)

→ボランティア保険に加入している場合は重複して補償されることになっている。(事務局)

(6) 第11回男女共同参画フェスティバル、第12回しみのひろばについて

○事務局：資料9について説明

《説明の要旨》

新規事業として市民劇団による演劇公演を行う。そのほか、花をテーマとした歌のミニコンサート、男女共同参画マンガの配布等があるので、ぜひご来場いただきたい。

(7) 改訂版第1次田原市総合計画の中間評価について

○事務局：資料10について説明

《説明の要旨》

改定版第1次田原市総合計画が平成29年度をもって前半5か年が終了したため、委員のみなさんに中間評価をお願いしたい。現在、市の内部評価をまとめている段階で、評価結果が取りまとめ次第、委員のみなさんへお送りし、次回の市民協働まちづくり会議にてご意見等いただきたい。

4 その他

○意見交換等

- ・「担い手」がキーワードだと感じ、一般の市民から担い手を育てていければよいのでは。具体的な内容だと、市民が関心を持つ仕組みやしかけを作るなど、ボランティア活動が単なるお手伝いではなく人材育成につながるようなプログラムを意識するなど。(委員等)
- ・市民活動団体に対する学びの場の提供や、団体同士をつなげるコーディネートについて、田原市の現状はどうか。(委員等)

- ・ 中間支援組織として市民活動支援センターが中心となり、初心者講座のようなものを実施するのが理想だが、なかなか実施できていないのが現状。スタッフのスキルは十分にあるが、全体調整の問題。(事務局)
- ・ センターのレベルを引き上げる、スキルのあるファシリテーターを招いて専門的に勉強するなど検討する余地は多くある。昨年度プランはリニューアルされたが、コンテンツを打ち込んでいく議論が不十分だったように思う。促進策について、またこのまちづくり会議で議論していきたい。(委員等)

午後 8 時閉会